

授 業 概 要

(幼稚園教諭専攻科)

授業のタイトル (科目名) 保育の食育活動		授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)		授業担当者	当該科目に関する実務 経験
				柳田 真理子	保育士
授業の回数 15回	時間数 (単位数) 30時間(1単位)	幼稚園教諭専攻科 後期	必修・選択 選択		
<p>[授業の目的・ねらい及び概要]</p> <p>・子どもが生涯適切な食生活を送るための「食を営む力」は、胎児期から思春期までの間に、子どもを取り巻く大人が与える食生活や行動、会話から培われることとなる。「食を食べること」は栄養成分や機能性成分を胎内に取り入れるだけでなく、身体的・文化的・社会的環境など、あらゆる面とかがわって刺激を受け、人として成長するための重要な役割がある。周囲の大人を真似て、どんなものを・どんな時に・どのように食べるのかを食事の度に五感を使って感じ取っていく。本授業では、子どもが長い人生を健康維持を意識し成長し続けられるよう、幼児期に食習慣の基盤を作るための支援を行う知識と技術を学んでいく。</p>					
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1・子どもの心身の健康と食生活～食べることは生きること～ 2・保育における食育の意義 3・食育の内容と計画・評価 4・食育のための環境 5・家庭における食事①コショクの問題 6・家庭における食事②食生活指導および食を通じた保護者支援 7・保育の食育活動①バランスコマってなんだろう？ 8・保育の食育活動②赤・黄・緑の三食栄養群 (パネルシアター作成) 9・保育の食育活動③1・2歳児の食育活動 10・保育の食育活動④3歳児の食育活動 11・保育の食育活動⑤4・5歳児の食育活動 12・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育保育要領 領域「健康」における「食」に関わるの内容 13・食育年間計画を学ぶ 14・食育活動の指導案作成 15・まとめ 					
<p>[使用テキスト]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各回テーマにそった資料を配布する 					
<p>[成績評価の方法と基準]</p> <p>教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し学内共通の基準による絶対評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考查点(75%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。 ・ 平常点(25%) ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。 					